

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

農林畜産食品部プレスリリース (2017年12月27日09時09分付け) 全羅南道高興郡の肉用あひる農場においてH5亜型AI抗原検出

出典 URL:

http://www.mafra.go.kr/list.jsp?&newsid=155450145§ion_id=b_sec_1&pageNo=1&year=2017&listcnt=10&board_kind=C&board_skin_id=C3&depth=1&division=B&group_id=3&menu_id=1125&reference=2&parent_code=3&popup_yn=N&tab_yn=N

(機械翻訳等に基づく仮訳)

- 農林畜産食品部 (長官: キムヨンロク) は、12月27日 (水)、全羅南道高興郡の肉用あひる農場 (飼育規模: 17,600羽) のと殺出荷前検査の過程で AI 検査を行った結果、H5亜型 AI 抗原が検出されたと発表した。
 - これにより、現地家畜防疫官が出動して、その農家の先制的な予防的殺処分、移動制限、疫学調査など、鳥インフルエンザ緊急行動指針 (AI SOP) に基づいて、緊急防疫措置を実施中。
 - * N 亜型と高病原性かどうかは、2~3日後に出る予定である。
- 農林畜産食品部は、AIの拡散を防ぐために家きん農場と渡り鳥の飛来地訪問を控える、疑似患畜発生地域の移動制限や消毒を実施するなど遮断防疫措置に家きん農場を含む国民の積極的な協力を要請した。